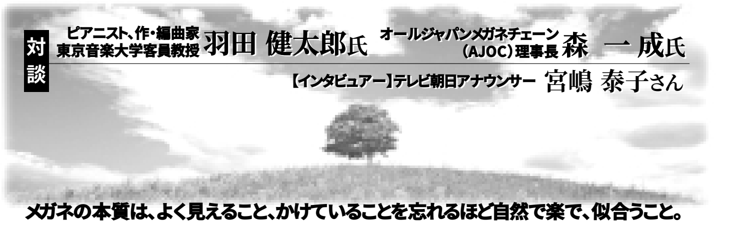
企画・制作
朝日新聞社広告部 **広告特集**



対談
ピアニスト、作・編曲家
東京音楽大学客員教授 **羽田 健太郎氏**
オールジャパンメガネチェーン（AJOC）理事長 **森 一成氏**
【インタビュアー】テレビ朝日アナウンサー **宮嶋 泰子さん**

**メガネの本質は、よく見えること、かけていることを忘れるほど自然で楽で、似合うこと。
生活雑貨感覚で安価だけを追求した商品も多くなってきたこの頃だからこそ、
大切な瞳を守るために忘れてはならない正しいメガネ選びのポイントがあります。
協同組合オールジャパンメガネチェーン（AJOC）の森一成理事長と
ピアニストで作・編曲家の羽田健太郎氏
インタビュアーにテレビ朝日アナウンサーの宮嶋泰子さんをお迎えして
「視」生活の快適さのために、どんなことが必要なのかを語り合っていただきました。**

快適な「視」生活を送るために いまこそ的確なビジョンケアを

森 一成氏

もり・かずしげ／名古屋大学医学部卒。医学博士、アメリカ・インディアナ大学オプトメトリー学部客員教授。11年間病院に勤務し、心臓医療に尽力した後、父の跡を継いで株式会社キクチメガネ代表取締役社長に就任。現在に至る。日本オプトメトリック協会会長。キクチ眼鏡専門学校理事長。

『ビジョンケアとは、いいメガネをつくること 確かで高度な技術を磨き続けています』

いいメガネとの出合いに正確な検眼は不可欠

●宮嶋　近視が多い日本人にとってメガネはとても身近で大切な存在ですけれども、最近はメガネ選びについて深く考えず、雑貨感覚で安易に買ってしまう風潮がある気がします。森理事長はそうした現状について、どのようにお考えでしょう。

●森　確かに若い方などの中には、「大体見えるようになればいい」という軽い気持ちから、検眼もそこそこに外見や価格などで気軽にメガネを買ってしまう方は多いですね。しかし、それはメガネのプロから見ると目にとって非常に危険なことで、そんなに簡単に選んで大丈夫だろうかと気になります。

●宮嶋　羽田さんがメガネをかけ始めたのは、いつ頃、どんなきっかけでした？

●羽田　小学校４年生の時、近視が判明したばかりに健康優良児になり損ねましてね（笑）。それで初めてメガネをつくったのですが、子どもなので、自分に合ういいメガネというのがよくわからない。それこそ「かけないよりはマシかな」くらいのアバウトな認識だったと思います。ただ、メガネの生活が長くなるにつれて、長時間かけていても目が疲れず、当たっている部分も痛まず、かけているのを忘れるほど自然なのがいいメガネなのだとわかってきました。

●森　それは大きな発見ですよ。いいメガネの最も大切な条件は、よく見えるだけでなく、一日中使ってもリラックスして見えることで、それには正しい検眼が必要です。例えば、視力表の検査では多少見えづらくても、目を細めたりしてある程度は自分で調節できますが、それでは正しい視力データは得られない。オートレフという自動検眼装置もありますが、それでできるのは大まかな測定だけです。いずれもそこから時間をかけて微調整しなければならない。それを怠って、いい加減な測定結果でメガネをつくると、ある瞬間はよく見えても、使っているうちに目が疲れる、肩が凝るなどの問題がでてきます。だからこそ、しっかりした検眼で自分の眼にあったレンズのメガネをつくることが重要になるのです。

●宮嶋　安いからとか、早くできるからとか適当な感覚でメガネを選んではいけないですね。協同組合オールジャパンメガネチェーン（以下ＡＪＯＣ）を設立されたのも、そうしたメガネに関する意識の啓蒙からだったのでしょうか。

●森　それも目的のひとつです。私どもＡＪＯＣは、ビジョンケアを推進し、少しでも多くのお客様のお役に立ちたいということで昭和33年に同業７社からスタートして、現在は全国32社、６３０店舗が加盟しています。進んで経営を合理化、近代化してお客様のご満足と業界の向上発展にも寄与していこうという同士の集まりです。ビジョンケアの解釈はさまざまですが、要は「いいメガネをつくる」ことに尽きます。楽によく見えるメガネ、その人に一番よく合うメガネをつくることが専門家としての責務だと思いますね。

視覚情報が多い時代に高まるビジョンケアの必要性

●宮嶋　昨今の情報社会の中では、視力から得る情報は全体の80％を占めるとか。現代人は目を酷使する生活をしていますが、昔の音楽家の場合はどうだったのでしょう。

●羽田　モーツアルトなどは、かなり目に悪い生活をしていたと思いますよ。なにしろ30数年の短い生涯のうちに６００以上もの楽曲をつくったわけですから。夜、月明かりやローソクの灯の下で譜面を書いたり、演奏旅行の馬車の中で書くこともあったでしょうね。もしかしたら彼、近視だったかもしれないなあ。

●森　でも、遠視だと大変ですが、近視なら譜面を見るには困らなかったのではないでしょうか。

アメリカでの調査によると、学習障害児には遠視などの視力障害をもつ子どもが多いそうです。本が読みづらいから勉強が嫌になってしまうんですね。日本ではあまり遠視のテストは行いませんが、５、６歳になって親が異変に気付いて調べると、片方の目がひどい遠視で、見えるほうの目だけしか使っていなかったということがよくあります。目もほかの肉体機能と同じで、使わないと発達しません。片方の目だけで見ると、立体感や遠近感などまでおかしくなる。早期から両目で見る訓練や正しい目の使い方を教えることが必要で、アメリカではオプトメトリスト（検眼士）がその役割を担っています。

●宮嶋　私も、以前にそれをアメリカ↖

↘で取材したことがあります。ビジュアルトレーニングというんですよね。羽田さんは５年前からＡＪＯＣのイメージキャラクターを務めておられますが、音楽家にとってのメガネの重要性を特に感じられることはありますか？

●羽田　細かい楽譜を見たりオーケストラの指揮の時に感じますね。例えば、次の旋律でフルートがソロを取る時など、ぱっとその奏者の目を見る。すると、相手もこちらの目を見て「自分の演奏に期待しているな」と感じ、いい演奏をしてくれるんですよ。

●宮嶋　アイコンタクトですね（笑）。

●羽田　これは、自分の目のためだけにつくられたオーダーメードのような一本、自分の体の一部のようなメガネじゃないとできません。また、ＡＪＯＣの加盟店でつくったメガネをかけてオーケストラの前に立つと、よく「顔が引き締まっているね」といわれるんです。そうすると、自分の中にある種の自信が生まれる。本当に自分に合ったメガネには、そういった自分を磨き上げる力があるのではないでしょうか。

●森　ビジョンケアというのは、楽にかけてもらうことが大事ですから、検査だけでなく顔に合わせたフィッティングはもちろん、トータルファッションに生かせるデザイン、アフターサービスなども総合的に含みます。実は、フィッティングは非常に難しくて経験を要しますが、その点、本当のプロがいる店でつくって調節したメガネなら、安心できますよ。

信頼できるプロはメガネのホームドクター

●宮嶋　先ほどオプトメトリストのお話がありましたが、アメリカではこれは１９０１年から国家資格で、視力矯正に関する専門家として認められているそうですね。

●森　はい。日本では実現はまだ先ですが、今、世界中で約45カ国が国家資格制になっています。私どもＡＪＯＣもビジョンケアの推進に必要な人材教育に重点を置き、昭和53年にキクチメガネで全国唯一の４年制のオプトメトリスト養成学校「キクチ眼鏡専門学校」を開校しました。同時に日本オプトメトリック協会（ＪＯＡ）を設立して、ＡＪＯＣ加盟店への検眼教育や検眼士試験をはじめ、メガネづくりのトータルな教育支援活動を行っています。そして昨年４月からスタートした、日本眼鏡技術者協会主催の「認定眼鏡士制度」には、ＪＯＡの検眼士試験合格者は最高のランクであるＳＳＳに、ＡＪＯＣ検眼教育全課程修了者も一般コースのＡＡＡに組み入れられ、眼鏡学校卒業者のＳＳを含め多くのメンバーが登録しました。

●宮嶋　目は、生活の上であらゆることのベースになる大事なものですし、そのパートナーであるメガネは、やはり高度なスキルをもつ専門家にお任せしたいですね。

●森　最近はメガネ小売業界にもディスカウントの波が押し寄せていますが、きちんと検眼した上で一人ひとりに合ったものでなく、大量に作られた既製品ということになり、それは結局メガネをかける人にとって不幸なことです。ビジョンケアはメガネの小売業の本道だと思いますし、私どもも、もっと技術を高めていく努力を続けたいと考えています。

●羽田　僕は、メガネ屋さんはかかりつけのホームドクターとか、本の横に置く辞書のようだと思うんです。目に関する、ちょっとしたわからないことをすぐに相談して解決できる存在としてメガネ屋さんとおつきあいすることが、自分のためにもなり、見ることが楽で快適になることを再認識しました。そう、やっぱり「視」生活は楽しくなけりゃ（笑）。

●宮嶋　ビジョンケアはお金に替えられない、大切なもの。やはり確かなお店で選びたいですね。本日はありがとうございました。

羽田 健太郎氏

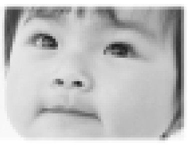
はねだ・けんたろう／桐朋学園大学卒。ピアニストとしてポップスからクラシックまで、作曲家として映画、ドラマ、アニメ等で幅広く活躍。「超時空要塞マクロス」で日本アニメ作曲大賞を授賞。近年は指揮者としても新境地を開拓。「題名のない音楽会21」（テレビ朝日系）の司会としてもお馴染みである。東京音楽大学客員教授。

『自分の顔と目に合ったメガネには自信を与えてくれる力があります』

宮嶋 泰子さん

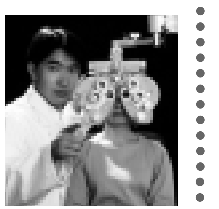
みやじま・やすこ／早稲田大学第一文学部仏文科卒。1977年テレビ朝日入社。現在、スポーツ実況と「ニュースステーション」でディレクター兼アナウンサーとして特集コーナーを担当。JOC日本オリンピック委員会事業広報専門委員会委員、日本体育協会生涯スポーツ推進委員会委員。92年度日本女性放送懇談会SJ賞受賞。

AJOCは目とメガネのプロの集合体です



AJOCとは、All Japan Optometric Co-operative「オールジャパンメガネチェーン」の4つの頭文字をとったもので、見る素晴しさを伝える「ビジョンケア」の理念を掲げて集まったメガネ専門店のグループです。業界初のボランタリーチェーンとして、１９５８年（昭和３３年）に結成され、平成１４年８月現在の加盟店舗数は６３０店を数えます。グループの活動を通して、眼と視力に関するより高い技術とサービスの向上に努めるとともに、時代の変化に対応して、さらに優れた企業へと発展していくためのさまざまな共同事業を行っています。

高齢化社会・情報化社会に必須の専門職 視力のスペシャリスト・オプトメトリスト



『キクチ眼鏡専門学校』は（株）キクチメガネを母体に、教育基本法と学校教育法に基づき、国際基準のカリキュラムに沿ったわが国唯一の４年制の眼鏡専門学校として、1978年4月に誕生しました。その目的は、すべての人々が生涯にわたって快適な視生活を送れるよう導くビジョンケアの専門家・オプトメトリストの養成です。精鋭の講師陣による専門知識・技術の修得、実験や実習、幅広い教養の修得はもちろん、業界の最新情報を反映した高度な教育を展開し、例年多くの優れた人材を輩出しています。

キクチ眼鏡専門学校
名古屋市東区泉2丁目5番5号 ☎052-932-2858
●ホームページ http://www.kikuchi-college.ac.jp

AJOC（アジョック）は全国630のメガネ専門店でつくる「ビジョンケア」のネットワークです

富士メガネ	北海道札幌市	☎011-231-7151
水晶堂	北海道帯広市	☎0155-27-1234
メガネの玉屋	秋田県秋田市	☎018-834-4329
メガネの水晶堂	岩手県盛岡市	☎019-653-3434
メガネの相沢	宮城県仙台市	☎022-262-0581
メガネのクロサワ	茨城県水戸市	☎029-224-9630
メガネの南海堂	埼玉県熊谷市	∞0120-24-1146
シミズメガネ	千葉県柏市	∞0120-471-432
メガネの勉強堂	千葉県千葉市	☎043-225-1131
メガネのフクヤ	東京都台東区	☎03-3831-0241
メガネのサワノ	東京都中野区	☎03-3389-0201
アサクラメガネ	東京都新宿区	☎03-3357-2251
セイビドー本店	山梨県甲府市	∞0120-310-979
AJOCヒキノ	静岡県静岡市	☎054-251-7777
メガネのいとう	長野県長野市	☎026-227-5500
ノセ．メガネ	長野県松本市	☎0263-32-1489
光学堂メガネ	石川県金沢市	☎076-231-3347
キクチメガネ	愛知県名古屋市	☎052-931-3216
オプト・玉舎	岐阜県高山市	☎0577-35-0838
メガネのナカガワ	三重県伊勢市	☎0596-25-7701
メガネのカメイ	岡山県津山市	∞0120-223497
メガネの田中チェーン	広島県広島市	∞0120-455252
メガネのタナカヤ	香川県高松市	☎087-834-3734
めがねのヨシダ	福岡県北九州市門司区	☎093-391-3333
めがねのイシモト	福岡県北九州市八幡西区	☎093-622-4100
メガネのサトー	福岡県飯塚市	☎0948-22-4001
生眼堂	福岡県大牟田市	☎0944-56-1001
ビューシック・クギミヤ	大分県別府市	☎0977-22-6111
ヤノメガネ	大分県大分市	☎097-536-1500
メガネの明視堂	長崎県佐世保市	∞0120-21-4446
メガネの大宝堂	熊本県熊本市	☎096-354-2155
メガネの光学堂	鹿児島県鹿児島市	☎099-226-6233

（加盟店の本店所在地）

アジョック＝オールジャパンメガネチェーン
東京眼鏡光学株式会社

お近くの
加盟店を
ご案内
しています

アジョック=オールジャパンメガネチェーン（本部）・東京眼鏡光学株式会社 〒141-0022 東京都品川区東五反田1-25-13 神野商事ビル7F ☎ 03-3280-1212 FAX 03-3280-1215 ホームページ http://www.ajoc.or.jp/